

製品名: シナプトタグミン X ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18497**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	55kDa

抗原情報

遺伝子名	SYT10
別名	SYT10; Synaptotagmin-10; Synaptotagmin X; SytX
遺伝子 ID	341359.0
SwissProt ID	Q6XYQ8
免疫原	シナプトタグミン X 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 380-460

背景

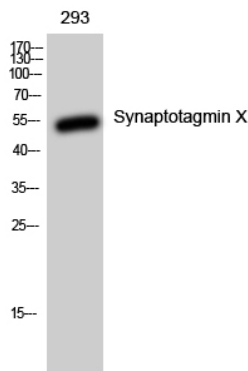
補因子: サブユニットあたり 3 個のカルシウムイオンを結合します。これらのイオンは C2 ドメインに結合します。機能: C2 ドメインへの Ca(2+)およびリン脂質の結合を介して、分泌小胞の Ca(2+)依存性エキソサイトーシスに関与するか、小胞輸送およびエキソサ

イトーシスの過程においてCa(2+)センサーとして機能する可能性があります。、類似性: シナプトタグミンファミリーに属します。、類似性: 2つのC2ドメインを含みます。、サブユニット: ホモ二量体。ヘテロ二量体を形成することもできます。、組織特異性: 脾臓、肺、腎臓でのみ発現します。、補因子: サブユニットあたり3個のカルシウムイオンを結合します。イオンはC2ドメインに結合している。、機能: C2ドメインへのCa(2+)およびリン脂質の結合を介して、Ca(2+)依存性分泌小胞のエキソサイトーシスに参与する可能性がある。あるいは、小胞輸送およびエキソサイトーシス過程においてCa(2+)センサーとして機能する可能性がある。、類似性: シナプトタグミンファミリーに属する。、類似性: 2つのC2ドメインを含む。、サブユニット: ホモ二量体。ヘテロ二量体を形成することもできる。、組織特異性: 脾臓、肺、腎臓でのみ発現する。、

研究分野

-

画像データ



シナプトタグミン X ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット解析